

# 解説記事

## 英 文

- 1) Naomi Hisanaga, Shunichi Araki (2004) Preface, Special issue: "Occupational Health Research in Asia: Recent Advances". Ind Health 42, 89.

## 和 文

- 1) 荒記俊一(2004) 結言. 日本の労働衛生研究登録課題, p77-78.
- 2) 原谷隆史(2004) 危機管理としてのメンタルヘルス対策—労働者と企業の双方に利益となる「組織の健康」とは—. 労働法学研究会報 第2324号, 1-35.
- 3) 原谷隆史(2004) NIOSH 職業性ストレス調査票の活用. 産業精神保健 12(1), 12-19.
- 4) 岩崎健二(2004) 蓄積疲労. 産業精神保健 12, 73-74.
- 5) 倉林るみい(2004) 学会として専門医制度等から学べるもの. 産業精神保健 12(3), 192-197.
- 6) 奥野 勉(2004) 有害光線の衛生管理. 産業衛生学雑誌 46(2), A30-A31.
- 7) 奥野 勉, 安部裕一(2004) 労働衛生保護具(5)=保護めがね=. 作業環境 25(5), 46-51.
- 8) 奥野 勉(2004) アーク溶接のブルーライトと光網膜炎の危険性. 産医研ニュース 14, 5.
- 9) 澤田晋一(2004) ISO/CD7933: 暑熱環境 - 暑熱負担予測指標の計算による暑熱ストレスの解析. 日本人間工学会 ISO/TC159(人間工学)国内対策委員会編, 人間工学 ISO/JIS 規格便覧 2004.
- 10) 澤田晋一(2004) ISO/CD8996: 人間工学 - 代謝熱発生量の算定法. 日本人間工学会 ISO/TC159(人間工学)国内対策委員会編, 人間工学 ISO/JIS 規格便覧 2004.
- 11) 澤田晋一(2004) ISO/CD15265: 温熱環境の人間工学 - 作業温熱条件におけるストレス・不快感のリスクアセスメント. 日本人間工学会 ISO/TC159(人間工学)国内対策委員会編, 人間工学 ISO/JIS 規格便覧 2004.
- 12) 澤田晋一(2004) ISO/CD 15743 : 温熱環境の人間工学 - 寒冷環境下の作業: 手順とリスクアセスメントとマネジメント戦略. 日本人間工学会 ISO/TC159(人間工学)国内対策委員会編, 人間工学 ISO/JIS 規格便覧 2004.
- 13) 高橋幸雄(2004) 産業衛生技術講座—騒音と対策—. 産業衛生学雑誌 46, A32-A34.